

高齢者のインフルエンザ予防接種を実施

新型コロナウイルスとの同時流行に備え早めの接種を

市は、高齢者を対象に、インフルエンザの予防接種を実施します。

- 対象 市内在住で次の①②のどちらかに該当する人
 - ①接種日当日に65歳以上の人
 - ②接種日当日に60歳～64歳の人で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障がいがある人、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある人（身体障害者手帳1級程度、接種日に要提示）
- 接種期間 10月1日（金）～12月末日（期間外は全額自己負担）
- 接種回数 1回（2回目以降は全額自己負担）
- 個人負担金 1000円
- 持ってくるもの 健康保険証
- 接種場所 下表の指定医療機関
- 費用免除 対象者で生活保護世帯や市民税非課税世帯の人は、個人負担金を免除。10月1日以降に必要な書類を医療機関窓口へ提示。本人や同居家族以外が申請する場合は、委任状に印鑑が必要

指定医療機関（事前に要予約）

医療機関名	住所	電話番号
わたなべ内科クリニック	立石	72・1636
川崎耳鼻咽喉科医院	上町	72・2235
石橋医院	新町	72・3176
永江医院	本町	72・3146
高橋皮膚科医院	本町	74・4155
二宮医院	本町	73・2600
大熊泌尿器科皮膚科医院	本町	72・5147
江頭整形外科医院	本城町	73・8480
益子医院	茂庵町	73・2053
まつなが内科クリニック	鬼童町	72・5711
大城医院	矢留本町	73・2427
藤吉クリニック	中町	74・4025
(一財)柳川病院	筑紫町	72・6171
甲斐病院	筑紫町	73・1217
甲斐田医院	西浜武	72・3435
金子病院	久々原	73・3407
幾嶋医院	田脇	73・3411
弓削クリニック	間	73・8400
龍外科医院	宮永町	72・2100
みたむらクリニック	上宮永町	74・2020
柳川リハビリテーション病院	上宮永町	72・0001
よこち小児科医院	上宮永町	72・1800
長田病院	下宮永町	72・3501
くらだ整形クリニック	大浜町	72・1111

必要書類（発行無料）

対象者	確認書類	発行窓口
生活保護世帯の人	生活保護受給証明書	市役所柳川庁舎2階生活支援課、大和・三橋市民サービス課
市民税非課税世帯の人	インフルエンザ減免用の市民税非課税証明書	市役所柳川庁舎1階税務課、大和・三橋市民サービス課

※対象者で市民税非課税世帯の人は、「介護保険負担限度額認定証」や「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」を医療機関窓口で提示すると、市民税非課税証明書がなくても無料で予防接種を受けることができます。

※年内に転入した人は、市で証明書の発行ができないことがあります。そのときは、市健康づくり課へ相談してください。

【問】同課健康係 ☎77・8536

医療機関名	住所	電話番号
やながわ星子クリニック	柳河	72・0835
古賀医院	柳河	72・2207
整形外科・皮膚科・柳川ツツ医院	柳河	72・1122
星子医院	下百町	72・0123
辻小児科・アレルギークリニック	下百町	32・9898
ヤナガワ整形外科	下百町	85・7455
耳鼻咽喉科伊東医院	高畑	72・2557
鎌田クリニック	高畑	72・2224
柳川すぎ病院	高畑	72・7171
川口内科医院	高畑	73・2007
三橋長田医院	今古賀	72・4171
森田整形外科医院	藤吉	72・5679
立花レディースクリニック	藤吉	73・2012
村石循環器科・内科	蒲船津	73・0099
松尾医院	白鳥	72・2842
星子ひさし整形外科	久末	74・5566
津末医院	久末	72・2516
中川ごうクリニック	木元	75・1105
つつみ内科・皮膚形成クリニック	中島	75・3578
藤野医院	中島	76・0011
千蔵医院	鷹ノ尾	76・1854
溝上整形外科	塩塚	76・1234
内田医院	塩塚	76・3003
津留医院	豊原	74・5099

年に一度は体のメンテナンスを

40歳と63歳になる人には無料クーポン券を送付

今年も6月から特定健診が始まっています。特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査です。高血圧や脂質異常症、糖尿病などのメタボリスクの早期発見と生活習慣の見直しが目的です。

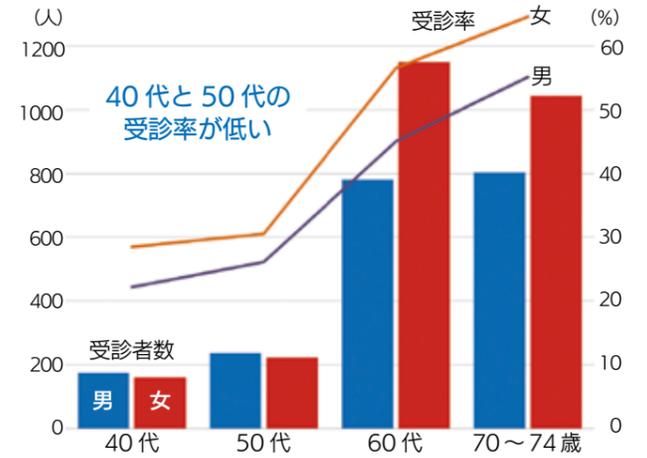
心筋梗塞や脳卒中は、全身の血管が痛むことで起こる病気です。ほとんどの場合、自覚症状がなく「血管を痛める原因」を持ったまま、10年、20年と月日が流れ、知らず知らずのうちに進行していきます。発症は「ある日突然」「運悪く」ではなく、血圧や血糖が高い状態が長期間続いて、血管を痛めた結果なのです。

特定健診を受けると、自分の生活習慣にどう関係しているのか、今の生活を続ければ今後どうなるのかが分かります。令和元年度、市内の受診率は39.8%で、特に若い世代の受診率が低くなっています。受診者のうち、メタボリックシンドローム（予備群を含む）の人は32.6%でした。また、令和元年度に市内で亡くなった人のうち、脳疾患で亡くなった人の割合は15.8%。県内の13.8%を上回っています。

皆さん、自分の体は大丈夫だと過信していませんか。今は、健康で体力に自信がある人でも、体の中で気付かないうちに病気が進行しているかもしれません。後で後悔しないように、年に1度、健康チェックのために、特定健診を受けましょう。下の図を確認して、自分がどの健診に該当するのか確認してください。

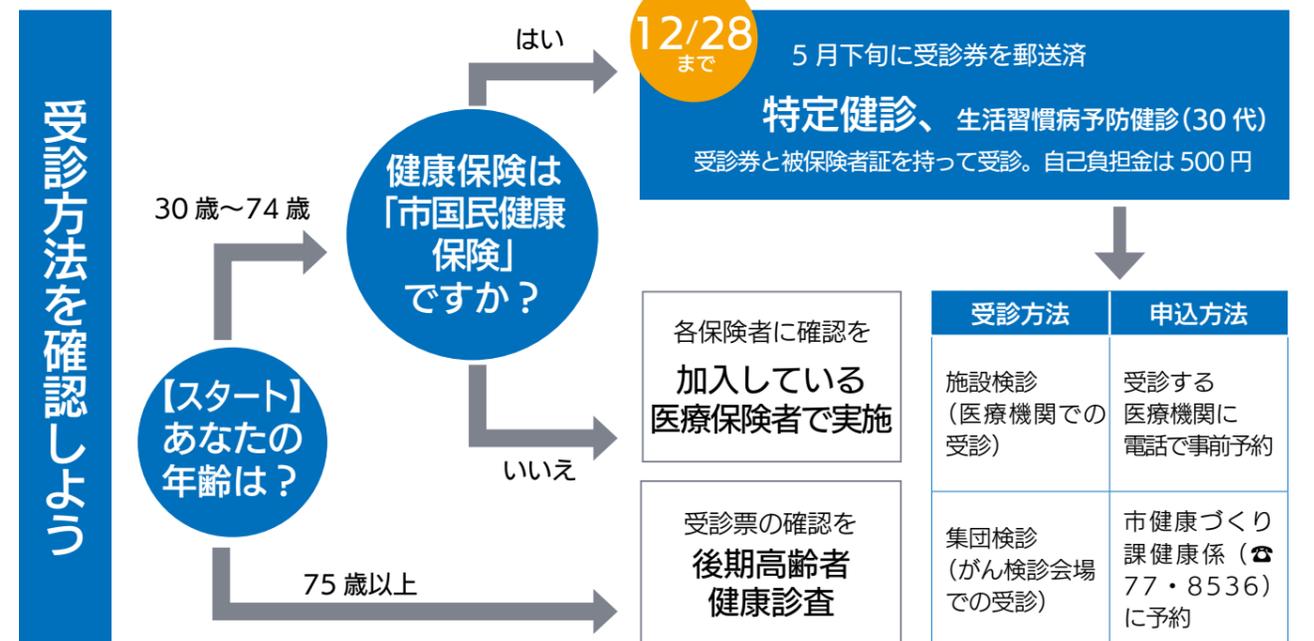
【問】市健康づくり課国民健康保険係 ☎77・8506

令和元年度特定健診の年代ごとの受診者数と受診率



40歳と63歳にクーポン券配布

今年度中に40歳と63歳を迎える人に、「特定健康診査受診券（無料クーポン券）」と書かれた黄色い受診券を5月下旬に送付しています。



12/28まで
5月下旬に受診券を郵送済
特定健診、生活習慣病予防健診(30代)
受診券と被保険者証を持って受診。自己負担金は500円

	受診方法	申込方法
各保険者に確認を加入している医療保険者で実施	施設検診（医療機関での受診）	受診する医療機関に電話で事前予約
受診票の確認を後期高齢者健康診査	集団検診（がん検診会場での受診）	市健康づくり課健康係（☎77・8536）に予約